



休診日
4・11・18・25

午前診療のみ
2・9・16・23・29



知っていましたか？
ねこちゃんにもある

高血圧

人と違うの？



猫ちゃんの収縮期血圧は、緊張状態を考慮しても150mmHg以下が正常とされています。ヒトの高血圧は「本態性高血圧症」と言って原因が特定できないタイプが約90%とされています。しかしねこちゃんでの高血圧は何らかの疾患が原因となって引き起こされている高血圧が80%ほどと言われています。

何が原因？どうなる？



原因疾患で代表的なものは「慢性腎臓病」と「甲状腺機能亢進症」で、いずれも中高齢の猫ちゃんに多く見られます。高血圧が持続すると腎臓にさらにダメージを与え、悪循環を招いてしまいます。持続的に160mmHgを超えると合併症が起こりやすくなります。心筋肥大、網膜剥離による失明、眼の奥の血管が破裂する眼底出血、痙攣、ふらつきなどを生じる恐れがあります。

治療は？



原因疾患の治療だけで血圧がコントロールできない場合、血圧を下げるお薬を使用します。定期的に血圧を測定する必要がありますが、容易ではありません。緊張・不安で高い数値になりやすい上、血圧測定中に動いてしまうと正しく測定できません。測定の際には少しでも落ち着く環境を作るため、飼い主さんに協力いただくこともあります。

★ 獣医さん紹介コーナー ★

- ◆ お名前を教えてください
牧野 伸和です！
- ◆ 出身地はどこですか？
静岡の伊豆です。このあたりと同じく、海と山に囲まれています。
- ◆ 得意分野はなんですか？
院長に憧れて入社したので、循環器に特に力を入れています。
- ◆ 今後力を入れていきたい分野はなんですか？
定期的に歯科専門医の補助に付いて学ばせていただいています。
- ◆ 趣味特技はありますか
アコースティックギター、サーフィンです。宮城の海はとても冷たいですがきれいで好きです！
- ◆ 最後にひとこと！
病気が見つかって、病気が主役の生活にならないことを目指して診療に向かっています。

